



MLP ウィークリー

2018年3月第2週号(2018年3月13日発行)

2018年3月9日時点

(1週間前=3月2日、前月末=2月末、前四半期末=2017年12月末、前年末=12月末)
なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比+0.9%と3週ぶりの上昇となりました。

3月5日(月)は、トランプ米大統領が表明した鉄鋼、アルミニウムに関する輸入制限の発動に対して、懐疑的な見方が広がる中、米国株式市場が続伸したことから、MLPは反発しました。6日(火)は、米週間統計の発表を翌日に控え、様子見姿勢が広がったことから、MLPは反落しました。7日(水)は、米週間統計において米原油在庫・生産ともに増加したことが嫌気され下落し、8日(木)も続落しました。しかしながら9日(金)は、米国の2月の雇用統計において非農業部門雇用者数が2016年7月以来の高い伸びとなる一方、賃金の伸びは鈍化したことを受け、利上げペースが加速するとの警戒感が後退し、米国株式市場が大きく上昇したことなどから、S&P MLP 指数は、前日比+1.6%と週の中で最も大きく上昇して週末を迎えました。

■主要指標の動き

* 過去1年(2017年3月9日~2018年3月9日)

	指数値 2018/3/9	騰落率				過去1年*	
		週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値	安値
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	4,415.52	0.9%	1.0%	-3.6%	-3.6%	5,075.20	4,190.80
プライスリターン	1,466.36	0.9%	1.0%	-5.4%	-5.4%	1,812.09	1,417.75
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	5,454.03	3.6%	2.7%	4.6%	4.6%	5,606.08	4,477.07
プライスリターン	2,786.57	3.5%	2.7%	4.2%	4.2%	2,872.87	2,328.95
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	876.61	2.2%	2.4%	-5.2%	-5.2%	999.26	780.85
プライスリターン	502.18	2.1%	2.3%	-5.9%	-5.9%	576.52	454.52
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,128.56	2.9%	3.1%	-8.8%	-8.8%	1,258.73	1,077.00
プライスリターン	284.72	2.8%	3.0%	-9.2%	-9.2%	322.87	272.52
米国ハイイールド債 (ICE BofA Merrill Lynch 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))							
トータルリターン	1,256.54	0.4%	-0.2%	-0.4%	-0.4%	1,274.02	1,187.24
プライスリターン	76.96	0.3%	-0.3%	-1.6%	-1.6%	79.30	76.68
米国10年国債利回り	2.89%	0.03	0.03	0.49	0.49	2.95%	2.04%
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり	62.04	1.3%	0.6%	2.7%	2.7%	66.14	42.53
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり	2.73	1.4%	2.4%	-7.5%	-7.5%	3.63	2.55
米ドル(対円)	106.81	1.0%	0.1%	-5.2%	-5.2%	114.95	105.76

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

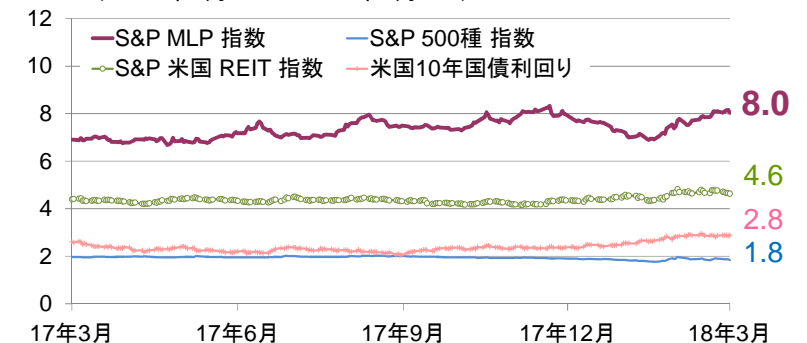
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2017年3月9日~2018年3月9日)



■各資産の利回り

(%) (2017年3月9日~2018年3月9日)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。